

沖繩作戰
二於ケル
獨立自動車第三百十五中隊史實資料

昭和三十年三月二十五日
第三十二軍残務整理部

第一 部隊履歴の概要

昭和十九年七月二十三日 東部丁七部隊にて編成

昭和十九年八月一日 内司出港八月十日 那霸入港

第二 部隊。作戦開始時の編成

中隊長 山口 鉄治 中尉

中一少隊長 渡谷 孝三 中尉

中二少隊長 今村 隆郎 中尉

中三少隊長 栗原 英作 中尉

編成定員一八〇名 沖繩那覇召集の兵約五十名を加ふ

第三 指揮系統 配属関係

作戦開始前より 兵站系統属 小隊長高野中佐より 命令

受領し 兵站系統属 兵站長より 命令

作戰開始後は兵站貨物廠等合一特設旅団を編成
旅団長高宮中佐大隊長山崎大尉(兵站)中隊長山口鉄治中尉
昭和二十年六月十八日頃石部隊中第一大隊に既属

第四 戰鬥實施場所

昭和二十年五月下旬(三七八九百)中頭郡(仲岡)に戰鬥
昭和二十年六月四日島原郡且志頭に漆川方面に進出の敵と戰鬥

第五 人員及車輛編成表

中隊長 修理班長 第一少隊長 第二少隊長 第三少隊長
中尉山口鉄治 軍曹石原安正 中尉今村隆郎 中尉藤谷孝三 中尉栗原英作
見工杉良平 同 谷寛司 軍曹北沢喜治 伍長生沢繁三 軍曹小泉亦馬
曹長三須宏 同 大若義大 伍長石井源之助 同 鈴木五郎 伍長須田正三
主曹長永元 正天 外兵十名 同 岡村隆介 同 飯山正行 同 斎藤安之助

軍曹近藤波郎 車輛五 伍長二宮貞夫 伍長井上正八 伍長榎本金作
同 春日松房 外兵四名 外兵四名 外兵三名
伍長水柏一朗 車輛十五 車輛十五 車輛十五
外兵十五名

車輛三 編成期昭和二十年一月一日

第六 獨立自動車第三一中隊 沖繩に於ける行動概況
隊第五八七九部隊

自昭和十九年八月五日 那霸に於て敵附貨物の揚陸右那覇市内に
至昭和十九年十月十日 民家三宿營其内分解自動車組立其右
第四十九兵站地区隊長、指揮下三ノリヲ輸送業務ヲ推進
昭和十九年十月十日 那覇空襲被害貨車三輛損傷其被害者
昭和十九年十月十日 那覇空襲被害貨車三輛損傷其被害者

真和志村與儀部落之民家爲營
昭和十九年十月十日軍高教副官通達依り同村團南半
學校及倉庫ヲ借取

昭和十九年十一月二十日第四十九地兵站地延隊長指部
者藤任長以下十二名貨車四輛自地延隊長護支部へ及須田
任長以下十五名ヲ嘉平納支部へ分遣

昭和二十年一月十日島尻郡 真和志村與儀 假兵倉ヲ建設
完了同所ニ陣營移轉

昭和二十年三月二十四日才四十九兵站地延隊長命令依り人員
及車輛共島尻郡大里村自取真ニ陣營移轉

昭和二十年 自三月二十五日 至五月十二日 戰時輸送業務ヲ從平平均毎夜
十車輛 渡り軍司令部才四十九地兵站地延隊長指示依り

二行りん

昭和二十年五月四日中隊八第四十九兵站地延隊長命令依り
特編步兵第三中隊ヲ編成特設步兵第一聯隊長指揮

下ニ文ル別ニ淡谷中尉ヲ長トスル輸送隊ヲ編成
大分中隊長山口中尉指揮スル小銃中隊要員トナリ

且志頭警備交代ノ爲山部隊ヲ警備地延申送ル
本台中隊ハ二小隊ニ別テ現地防衛召集者約五十名
ヲ倉々具志頭地延警備

昭和二十年五月十五日中隊ハ特設步兵才一旅團長命令ニ
依り特設步兵才四聯隊長ヲ兼下ニ屬セシメ且志頭地延
ニ一部兵カラ殘置シ島尻郡大里村仲程ノ線ニ進出
昭和二十年五月二十日中隊ハ夜間ニ乘シ今村小隊長ノ
指揮スル小隊ヲ集團斯江隊トシテ特才四聯隊長ノ指示

スル地ニ差出斯ハ決行セリ

昭和二十年五月二十九日中隊ハ米軍抵抗ヲ排シ夜暗
仲程ノ線ヲ撤退稍嶺附近ニ主力ヲ集結第三小隊ヲ以テ
仲程後方ニ整備ニ當ラシム

昭和二十年五月三十日水勤ハミ中隊久保田少隊協力ト里
附近陣地ヲ占據交戦セリ利マス夜間逐次脱出

具志頭地区ニ集結附近警備

昭和二十年六月三日漆川方面ヨリ進出セル米軍ハ具志頭
台地ニ於テ交戦ニ間及ヒ熾烈ナル艦空爆ノ為擄迫
陣地ニ在ルコト不可能トナリ六月六日具志頭地区警備ヲ
独恨四十四旅団ニ引継ギ特設歩兵第一旅団長ノ指揮
ニ入ル目的ヲ以テ山城ノ方面ニ脱出ス

昭和二十年六月七日石才十四大隊長ノ指揮下ニ入ラシメラレ
喜屋武村附近警備

昭和二十年六月十日石才十五大隊長ノ指揮下ニ入ラシメラレ
糸須附近ノ陣地ニ於テ交戦セルモ犠牲多ク為ニ後退ス

昭和二十年六月十二日長屋武村附近警備ノ為石才十五大
隊ニ交代警備

昭和二十年六月十五日石才十四旅団ノ直衛中隊トナリ
第一少隊ハ小渡附近第二少隊中隊本部ハ米須附近
第三少隊ハ山城附近ノ警備ヲ命ゼラレ石才三少隊ノ三指命
陣地進出先モ他人情況ノ緊迫ノ為進出不可能
長屋武村附近ニ於テ依然警備續ク

昭和三年六月十八日右兵團直衝中隊トニ任務ヲ受ケルモ
身動キ未キ迄屋武村附近棲息陣地ニ於テ交戦
續行分隊別ニ夜暗ニ乘テ棲息陣地ヲ脱出附近ニ散在
昭和三年六月廿日以降中隊ハ前面見敵ノ陣地ヨリハ
固断ナキ監視爲行動出来ス僅カニ夜暗永其他食糧
ヲ獲得スルニ金力ヲ注キ其右戦斗ハ極力避ケタルモ
中隊ノ指揮統一ハ乱レ中隊ハ解散セルト同様ノ結果
トナリ其右ノ人員ノ所在ニ就テハ定カラス

昭和三年六月二十三日夕刻中隊長山口中尉ハ棲息陣地ヨリ
敵狀偵察ノタメ出テモ同月二十四日晚迄歸陣ス敵彈痕
リ戦死セルモノ如ク之ノタメ中隊長代理者ヨリ指揮班
員及沖繩防衛隊員ヲ逐次波谷小隊ニ追從セシメト
夜間ニ脱出セシメタリ此頃山城喜屋武村附近ニ在リシ
右兵團各連隊団モ敵襲ニ依リ損害大ナルノ如ク既ニ
摩文仁高地軍司令部附近ニ轉進シテ中隊殘餘兵
員ハ波谷小隊ニ連絡セシメテ亦不可能ナリ
彼我損害甚大ニテ中隊特編步兵中隊編成モ他部隊
ニ對シ小隊若シハ分隊毎ニ各々石部隊等ニ配属セラル
陣地等ノ移動繁シテ中隊トノ連絡不況有ク多ク損害
甚大ニテ亦不可能ナリ

3. 生死不明者ノ発生ニ及レル點
1. 中隊及小隊ノ幹部ニ於テ戦死セルモノ多ク又沖繩ノ防務隊員ヲ
指揮下ニ置キタルヲ指揮命令ノ不遵守中隊ノ特編步兵中隊等
各部隊ニ既属スル後指揮部隊カ中隊ニ對テノ連絡不十分
トナリ又莫トス沖繩喜比都國頭附近ニ内地ヨリ増員部隊到着
ヲ決定シテ風評ヲ國頭方面ニ突被セルモノ多ク途次戦死者モ
大ナリトス

5. 終戦後ノ経過

1. 一般状況

(1) 治安(良好) (2) 住民ノ動向(良好) (3) 對日人感情取扱(一般)

2. 日本軍ニ對シテ聯合軍ノ取扱

一般ニ良好ニテニ三ノ悪者モ見受ケレタモ其ノ他ナシ

3. 集結後ノ経過

集結後ハ將校下士官兵ト区別シ下士官兵ヲ勞役
ニ服セシム取扱モ良好ナリ

六 取還輪送途中狀況

人生冠特三給養衛生狀況

給養八音通五毛保員態度良好可

衛生亦良可